

# 米子市・淀江町合併協議会 新市将来構想(案)について

淀江町と進めています合併協議で、「新市将来構想」案がまとめられました

## 新市の将来像

『交流と連携を育み、まち  
新しい文化を創造する都市』

## 基本理念

みなもと  
『新たな文化の発信拠点を目指して』



平成16年3月  
米子市

# 新市の将来構想案について

米子市と淀江町の合併によって誕生する新市の将来構想案(以下「将来構想案」と言います。)(概要版)をお届けします。

これは、米子市・淀江町合併協議会が策定したのですが、ここでは、米子市の現在のまちづくりの考え方がこの将来構想案の中にどう反映されているのかということについてお話します。

## 米子市のまちづくりについて

米子市は、平成13年度に策定した「第7次米子市総合計画」(以下「7次総」と言います。)をまちづくりの指針として市政運営を行ってきています。

「健やかに 幸せに みんなで豊かなまちづくり」という将来都市像の下に、市民と行政が一体となって、市民一人一人が心身ともに健康で幸せな生活を営むことができ、人・物・情報の活発な交流を通じて夢と未来をはぐくんでいくことができるようなまちづくりを目指すものです。

平成15年4月、米子市長は、「生活充実都市・米子」というまちづくりの理念を打ち出しました。これは、7次総にも掲げた「健康で幸せな生活」という視点をさらに特化させたもので、市民の皆さん一人一人に生活の充実感と米子に住んでいることに対する誇りを持っていただくことのできるような都市を築こうという考え方です。

そして、淀江町との合併を間近に控え、市民生活の基盤をさらに充実させるため、当面、「少子高齢化対策」「経済活性化対策」「市民参画と市政の改革」の3つの柱を優先施策として取り組むこととしています。

## 新市のまちづくり

新市のまちづくりと言っても、米子市のまちづくりを大きく方向転換してしまうものではなく、あくまでも、これまで取り組み築き上げてきたものを土台として、さらに大きく飛躍しようというものです。

このため、将来構想案の策定に当たっても、現在の本市のまちづくりの方針等が十分に反映されるよう努めました。その主なものを紹介します。





## (1) 将来都市像について

まち

将来構想案では、**交流と連携を育み、新しい文化を創造する都市**という将来都市像が掲げられています。

「交流」というキーワードは、7次総においても非常に重要な位置付けをされており、「人・物・情報の活発な交流」を通じて夢や未来をはぐくむことができると謳っていますが、「交流」は、本市のみならず、この地域の発展にとっても不可欠なキーワードであり、将来都市像においても、柱の一つとして取り入れられ、新市においても、これまでの米子市のまちづくりと極端に変わることのない方向を目指して取り組んでいくことになります。

また、「生活充実都市」の理念に掲げた「生活の充実感」や「米子に住んでいることに対する誇り」が必ず新しい文化を創造するためのエネルギーになるものと考えています。

## (2) 基本理念について

基本理念の形成の視点に **進取と伝統を重んずる市民のころ** と **新たな交流の時代** が掲げられています。

「進取」というのは、新らし物好きの米子市民の気質から、「新たな交流の時代」というのは、米子市にあるコンベンション・センターや、この地域の陸・空の高速交通網等の交流基盤から導き出されています。これに淀江町の古代からの大陸交流の証しを融合したもののから **新たな文化の発信拠点をめざして** という基本理念が生み出されました。

基本理念には、「定住」のまちづくりと「交流」のまちづくりが併記されています。

このうち、**活力ある個性豊かな定住都市の形成** は、新市の住民生活の充実を主題としたまちづくりとして、また、**新たな交流の時代を見据えた都市の形成** は、都市間競争など対外的な環境を意識したまちづくりとして捉えることができます。

そして、前者は、生活の充実感とふるさとの誇りを謳った「生活充実都市」のより発展した姿であり、後者は、「交流」という7次総で目指すまちづくりの都市戦略的な視点を新市に継承するものだと考えています。

### (3) 市民と行政の関係

将来構想案では、まちづくりの基本目標を実現していくための体制・手法として **市民と行政のパートナーシップによる協働のまちづくり** ということを掲げています。

「市民と行政の協働」という考え方は、地方分権の進展に対応したまちづくりを進めていくためには、なくてはならないものであり、本市においても、7次総の将来都市像に「市民と一体となって目指すまちづくり」と掲げているほか、当面の市政運営に当たっても「市民参画と市政の改革」を柱の一つとして取り上げています。

この考え方は、合併後も、当然、引き継がれるべきものであり、住民の皆さんと一緒に新しい都市を作り上げていくこととなります。

### (4) 都市構成図

「ゾーン」「拠点地区」とともに、米子市と淀江町の土地利用の実態に即して大まかに位置付けされたものでありますが、具体的な土地利用や基盤整備は、この構想を基に作成される新市建設計画に盛り込んで、新市において実施していくこととなります。

### (5) 建設計画

今後、合併協議会において、**交流と連携を育み、新しい文化を創造する都市** を将来像とするこの構想に基づき、より具体的なまちづくりの考え方や方策を盛り込んだ「新市建設計画」が策定されることとなります。

**合併協議会で作成された新市将来構想案・概要版(P4から)をご覧ください、市民の皆様のご意見をお寄せください。**

- (1) 新市将来構想案について
- (2) 新市建設計画に盛り込むべき事業について など

募集期間 3月1日から20日まで  
募集方法 ご意見を、郵便、ファクシミリ、電子メールで  
下記までお送りください。  
提出先 米子市企画部企画課  
〒683-8686 米子市加茂町1丁目1番地  
Tel (0859) 23-5351  
Fax (0859) 23-5392  
メールアドレス kikaku@yonago-city.jp

